

令和7年度再生可能エネルギーゾーニング業務 業務委託仕様書

1 業務概要

地域と共生した再生可能エネルギーの導入の基盤を整備するため、日置市全域（海域を含む）を対象範囲とし、太陽光、風力、中小水力について、導入ポテンシャルや自然的・社会的条件等の調査を行い、地域の利害関係者等のヒアリング等を通じてゾーニングマップの素案を作成し、公表する。

2 業務履行期間 契約締結日の翌日から令和8年3月13日までとする。

3 対象範囲 日置市内全域（海域を含む）

4 対象再生可能エネルギー種別 太陽光、陸上風力、洋上風力、中小水力

5 業務内容

ア ゾーニングに係る既存情報の調査

対象範囲における再生可能エネルギーのゾーニングを行う上で必要な情報として、再生可能エネルギー発電設備の設置に関する関係法令や各種規制、土地利用の制限や自然環境の情報、事業性に関する情報等について既存情報の収集・整理を行う。調査結果は、GISデータとして取りまとめること。

イ ゾーニングに係る詳細情報の調査

希少動植物の生息・生育地や保全すべき施設等の分布、地すべりや砂防指定地等の防災上配慮が必要な区域、主要眺望点からの景観、主要な船舶航路、漁業利用状況などゾーニングに係わる重点事項について、関係する利害関係者や専門家等への聞き取り調査を行いゾーニングに反映させる。調査結果は、GISデータとして取りまとめること。

ウ 関係者へのヒアリングや市民とのワークショップの開催に関する支援

対象範囲における再生可能エネルギーのゾーニングマップの素案を作成に当たり、関係する利害関係者からのヒアリングや、市民とのワークショップを実施する。開催準備、当日の資料説明、議事録作成等の支援を行う。ワークショップは、伊集院、東市来、日吉、吹上の4地域で1回ずつ開催すること。

エ ゾーニングマップの素案の作成及び報告書のとりまとめ

アからウの結果を踏まえ、自然的条件、社会的条件等の評価を行い、環境保全を優先するエリア、再生可能エネルギー発電設備の導入が可能なエリア等に区分し、ゾーニングマップの素案を作成し、報告書をとりまとめる。また、それぞれのエリアの設定根拠、特徴、課題、考慮すべき点等を可能な限り整理する。

オ 成果品

- ① 調査報告書（A4版、くるみ製本）…………… 2部
- ② 上記、報告書を含む電子媒体（CD-R等）…………… 一式